

人情、豊かな自然と歴史に抱かれた 住みよい郷 新城をめざして

～新城づくり計画～



平成 29 年 12 月
新城地区公民館
見直し版

人情、豊かな自然と歴史に抱かれた 住みよい郷 新城をめざして ～新城づくり計画（見直し版）～

もくじ

1	新城づくり計画（見直し版）について	P 1
2	新城はこうありたい（行動計画）	P 2
3	参考資料	
(1)	こんなことをやってきた（新城づくりの歩み）	P13
(2)	新城づくり計画見直し委員会名簿	P15
(3)	策定経過	P16
	あとがき	P17

1 新城づくり計画（見直し版）について

新城づくり計画（計画期間：H24～H33年度）は、平成23年度に策定した「初版」の考え方に沿って、これからの中後期のために、平成29年度にわたしたちが考え、意見を出し合って、行動計画の見直しを行いました。

わたしたちは、これまで計画に基づいて地域づくりに取り組んできましたが、新しいことへの挑戦や既存計画の充実を図る必要がありました。

今回の行動計画の見直しによって、行政や関係機関と協働し、力を合わせ、住みよい新城を目指して新城づくりを進めていきます。

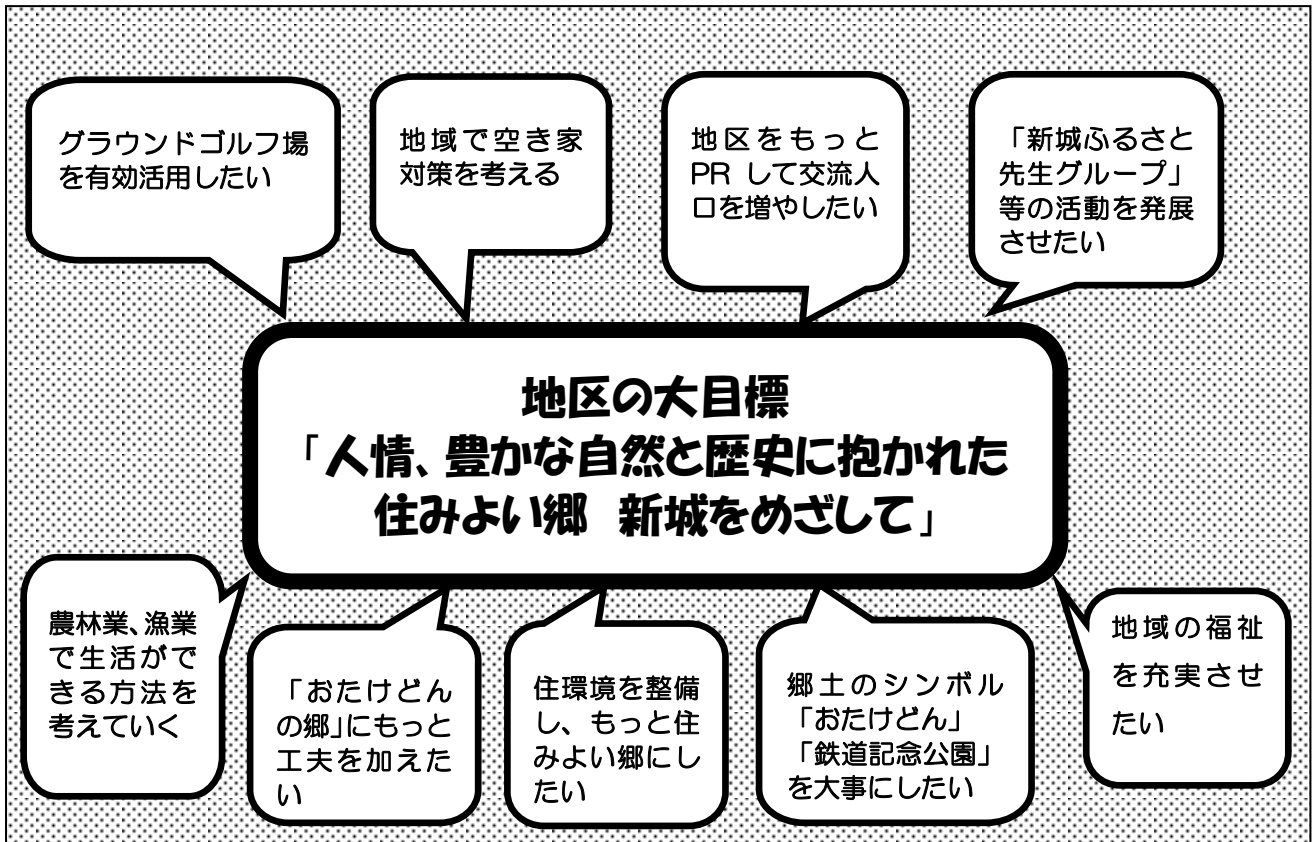


▲ H24年度新城づくり計画（初版）
策定委員会



▲ H29年度新城づくり計画（見直し版）
策定委員会

2 新城はこうありたい（行動計画）



2 新城はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが	
	地域・団体名・市・県・国	
<p>グラウンドゴルフ場を有効活用したい</p>  <p>▲ 新城・柘原親善グラウンドゴルフ大会</p>	<p>新城地区公民館</p>	
 <p>▲ グラウンドゴルフ場の芝修繕</p>		
	農林課	
	企画政策課	

いつ、何をする		市役所関係課長等の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
○日ごろの練習等に活用し健康づくり、生きがいづくりを行う。		<p>※1 このグランドゴルフ場については、地区の皆様方が大会や練習等に活用され、健康づくり、生きがいづくりを实践され、さらにボランティアで通常の維持管理を実施されることで、新城のいこいの場、語らいの場としても位置づけられ有効活用されているようです。 そのような活動をされている中で、市への要望は、『地区の奉仕作業だけでは対応できない時の要請に協力してほしい』ということですが、災害などによる土砂流入については、その規模にもよりますが、地区の皆様方への協力は実施していかなければならないと考えております。</p> <p>※2 地域の皆様方により有効に活用していただき、ボランティアにより維持管理をおこなっていただいておりますことに感謝申し上げます。 災害時の土砂流入については、土木課と連携しながら地区の皆様方への協力をしてまいりたいと考えております。</p> <p>※3 広報誌への掲載につきましては、掲載内容をご提示いただければ、更なる利用者の増加に向けて、より効果的なPRを担当者で調整いたします。</p>
○地区グラウンドゴルフ大会を開催する。 ○大会規模の拡大を検討する。		
○新城のいこい、語らいの場としても位置づけ、ずっと使い続ける。 ○維持管理等は、労力奉仕を含め決めたルールを守って手入れを行う。 ○競技日前の点検を行う。		
○利用者が増える工夫を行い、競技人口の増加を図る。 ○日陰対策やベンチを増やす等、利用しやすい環境づくりを行う。		
○土砂流入の対応について、協力します。※1		
○土砂流入の対応について、協力します。※2		
○広報誌によるPRについて、協力いたします。※3		

2 新城はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが			
	地域・団体名・市・県・国			
<p>地域で空き家対策を考える</p>  <p>▲▼ 空き家の調査</p> 	<p>新城地区公民館 地区振興連</p>			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1029 1115 1278 1384" rowspan="3">市</td> <td data-bbox="1278 1115 1528 1384">企画政策課</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1278 1384 1528 1532">財政課</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1278 1532 1528 1727">土木課</td> </tr> </table>			市	企画政策課
市	企画政策課			
	財政課			
	土木課			
<p>地区をもっとPRして交流人口を増やしたい</p>	<p>新城地区公民館 地区振興連</p>			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1029 1989 1278 2114">市</td> <td data-bbox="1278 1989 1528 2114">水産商工観光課</td> </tr> </table>	市	水産商工観光課		
市	水産商工観光課			

いつ、何をする		市役所関係課長等の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○空き家の調査、掘り起こし、データベース化する。 ○マップ化を検討する。 ○市と協力して空き家の所有者を明確にする。 ○バンク登録物件と業者委託物件の双方を地区で把握し、紹介する。 ○廃屋の調査や撤去方法の検討の他、空き家バンク制度のさらなる周知を要望する。</p>		<p>※4 本市の空き家情報につきましては、賃貸・売却ともに最新の物件情報を、随時市のホームページへ掲載していますので、周知にご活用ください。 また、今後、地区でも空き家に関する取組をさらに進めていかれるとのことですので、市へ新城地区の物件に対するお問い合わせがありましたら、地区へつなぐといった協力も行ってまいります。 なお、バンク登録物件は、家財撤去費用及びリフォーム費用の一部補助の対象となり、また転入された方が登録物件を契約されますと家賃補助を受けることも可能となります。地区の定住促進にもつながることから、ぜひバンク登録へのお声かけにご協力願います。</p>
<p>○子どもたちが帰ってこられるようなまちにするために住宅整備を進め、若者の定住を促進する。 ○まちの雰囲気づくりに頑張っている若者へ協力や支援を行う。 ○公営住宅の整備を要望する。 ○移住希望者が新城の良さを知ってもらうための体験住宅を整備する。</p>		<p>※5 空き家等を改修した体験住宅の整備は、地区の空き家を減らし、かつ移住希望者の定住促進につながる素晴らしい取組だと思えます。改修物件や運用につきましては、地区の皆様が協議されていく中で、企画政策課も効果的な事業展開を共に考えてまいります。 また、改修に係る整備費につきましては、市まちづくり交付金のハード事業(交付上限額100万円。公民館1割負担)の対象になるように、地区で申請に向けた協議をお願いします。</p>
<p>○空き家情報の提供について、協力いたします。※4</p>		<p>※6 旧教職員住宅は、教職員住宅として利用見通しかなかったことから平成26年に財政課へ普通財産として所管換えされたものです。財政課としては、私下の相談が数件あったことから「財産の有効活用」として公売の方向で準備を行っていましたが、「安易に公売するのではなく、十分な検討を行うとともに他に有効活用ができないか調査すること」との指示により、現在、市としての方針を検討中でございます。</p>
<p>○体験住宅整備の取組について、支援してまいります。※5</p>		<p>※7 公営住宅は、平成24年度に将来人口から将来世帯数を算出し、平成34年度の市内全域の公営住宅の必要戸数を推定し、公営住宅長寿命化計画を策定しております。 その計画に基づきまして、今現在建っている公営住宅の状態を把握し、予防保全的な観点から適切な修繕・改善の計画を定め、長寿命化のための維持管理による更新コストの削減と事業量の平準化を目指し、事業を推進しているところでございます。 その計画では、新城地区において新たな公営住宅建設の計画はありませんが、地域からの要望や民家の空き家の状況、また民間アパートの賃貸状況等を勘案の上、検討していかなければならない問題だと思えます。 しかしながら現状では、まずは、長寿命化計画で進めている工事を優先させたいと考えております。</p>
<p>○旧教職員住宅については、市としての方針を検討中です。※6</p>		
<p>○公営住宅の整備については、地区のニーズや空き家の利活用、定住促進等、十分に検討していかなければならないと考えている。※7</p>		
<p>○地区をもっと活性化させて、良いところを宣伝する。 ○インターネットを活用して、公民館やたより新城等をPRする。 ○イラストマップを活用した新城のPRを行う。</p>		<p>※8 地区の観光PRについて、今後も協力してまいります。 本年度におきましては、明治維新150周年カウントダウン企画として、本市における「西郷どん」ゆかりの地ツアーを5回実施しております。その中で7月(26名参加)に麓集落の中村家、8月(27名参加)には大都集落の上田家等をツアー行程に取入れ、実施したところでございます。 今後も地域から様々な情報を入手し、観光PRの充実を図ってまいります。</p>
<p>○観光PRに係る取組について、協力いたします。※8</p>		

2 新城はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが	
	地域・団体名・市・県・国	
<p>「新城ふるさと先生グループ」等の活動を発展させたい</p>  <p>▲ 新城こども園田植え</p>	<p>新城地区公民館 新城小学校 新城こども園</p>	
<p>農林業、漁業で生活ができる方法を考えていく</p>  <p>▲ 花き農家の管理作業風景</p>	<p>新城地区公民館 新城地区農作業受託組合 農家</p>	
	市	農林課

いつ、何をする		市役所関係課長等の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<ul style="list-style-type: none"> ○伝統芸能「鎌手踊り」を小学生に伝承する。 ○地域リーダーや伝統行事の後継者育成に努める。 ○学校行事に「ふるさと先生グループ」や地区の高齢者が参加・協力する。 ○昔の道具を使って体験栽培を行う。 ○年末に「ふれあい餅つき大会」を実施する。 ○体験栽培の農産物を使って食事会をする。 ○市職員が積極的に地域活動に参加するよう、案内に工夫した呼びかけを行う。 ○新城ボランティア会と連携し、緑化活動や清掃活動に協力する。 ○ガラツパ公園のホタルを残すために地域環境づくりに努める。 ○実施後の反省、意見等を集約して次年度につなげ、六月灯を発展させていく。 ○伝統行事(十五夜、馬追い)の盛り上げを図る。 		<p>※9 新城地区農作業受託組合の活動を尊重しながら、これからの担い手として期待される人なども構成員に加え、地域農業をどう維持・発展させるのか、役員同士の意思統一や方針決定、また地域ぐるみの話し合いによる合意形成を図ることがポイントになると思われます。直近では水之上三和営農組合の設立から現在にいたる取組が参考になりますので、お互いの現状や課題を含めた情報交換等を行えるよう支援してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○後継者の育成を図る。 ○新規の就農者等を見つける努力をする(就農助成制度の活用、紹介)。 ○兼業農家の育成を図る。 ○新しい取組を支援し、新城ブランドの確立につなげる。 ○レンタルファーム(貸し畑)の検討を行う。 		
<ul style="list-style-type: none"> ○集落営農組織を立ち上げる。 ○農地中間管理機構を活用して、農地の集積を行う。 ○共同機械の導入等、受託組合の充実を図る。 		
<ul style="list-style-type: none"> ○新城地区に教育旅行の受け入れ家庭をもっと増やす。 ○農家民泊・グリーンツーリズム・エコツーリズムを推進する。 ○民泊受入家庭の質の向上を図る。 		
<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣害対策に努める。 		
<ul style="list-style-type: none"> ○里山を整備する。 ○間伐して災害を防止する。 ○間伐材の漁礁・築磯への利用を検討する。 		
<ul style="list-style-type: none"> ○一本釣りのために、いけすへの駐船場を増やす。 		
<ul style="list-style-type: none"> ○漁業振興会による漁礁・イカシバの設置に協力していく。 		
<ul style="list-style-type: none"> ○集落営農組織の立ち上げについて、支援いたします。※9 		

2 新城はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが	
	地域・団体名・市・県・国	
<p>「おたけどんの郷」にもっと工夫を加えたい</p>  <p>▲ おたけどんの郷</p>	<p>新城地区公民館</p>	
<p>市</p>		
<p>住環境を整備し、もっと住みよい郷にしたい</p>  <p>▲ 秋の地域清掃</p>	<p>新城地区公民館 地区振興連</p>	
<p>市</p>	<p>土木課</p>	

いつ、何をする		市役所関係課長等の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○おたけどんの郷出荷者協議会の各期の活動計画と整合を取りながら展開していく。</p> <p>【委員会が出された意見、アイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一本釣漁の復活、おたけどんで魚を売る。 ・販売商品の見直しを行う。(品目、直売品等を増やす。) ・費用対効果を見直し、売るしきみを再構築する。 ・設備改善のための補助金等の要望を行う。 ・組織の高齢化に対応する対策を考える。 ・野菜直売とイベントを合わせて実施し、他の地域の人を呼ぶ。 ・「新城おたけどん祭り」等のイベントの実施検討。 ・農作物の安定した出荷ができるように、計画的な栽培を行う。 		<p>※10 第2次垂水市食育・地産地消推進計画にあるとおり、地産地消の推進は行政の課題でもあります。地域の直売所は、旬をとらえたおいしく安心安全な農林産物の提供はもちろん、市内外から訪れた方々がふるさとの香りやなつかしさをを感じる点等が人気の理由となっています。今後も農家の皆様が消費者のニーズを捉え、創意工夫を進めることで新城の個性が一層発揮され活性化される場となるよう期待しておりますので協議にも参加する方針でございます。</p> <p>また、今後、他の直売所などとの連携のためにも県農業・農村振興協会による「直売所ネットワークかごしま」へのご加入、活用もご検討ください。</p> <p>※11 構成メンバーが高齢化されている中、これからの方向性や販売戦略など協議しなければならない案件がありましたら、会議に参加し助言等させていただきます。</p> <p>また、販売品等の情報発信につきましても、市のホームページやSNS等を活用した広報なども支援してまいります。</p>
<p>○加工グループを再開させる。</p> <p>○二次加工品(真空パック等)をつくり、年間を通して売る方策を検討する。</p>		
<p>○おたけどんの郷の協議について、参加協力を努めます。※10</p>		
<p>○おたけどんの郷の協議について、参加させていただきます。※11</p>		
<p>○地域環境づくりに努め、ごみ分別とリサイクルを推進する。</p>		
<p>○市道戸越線及び大浜横間線の早期完成に向けた要望を行う。</p>		<p>※12 新城地区の皆様方には、ボランティア作業による河川や道路の除草作業を実施していただき感謝しているところです。</p> <p>市としても行政連絡会での要望に対しまして、環境整備班で実施可能な箇所は、早急な対応に心がけて実施しており、環境整備班で対応できない箇所は、建設業者に依頼して重機借り上げや工事に対応しております。</p> <p>また、県管理の箇所については、県へ要望して実施していただいております。</p> <p>しかしながら、早急な対応が出来ない箇所もありますので、お問い合わせいただければ事業の進捗状況等を情報提供いたします。</p>
<p>○河川堤防の道路美化を行う。</p>		
<p>○振興会単位、その他で計画的に草払いを行い、地域環境美化に努める。</p>		
<p>○地区の海や川を地域づくりに活かす。</p>		
<p>○交通量は増えているため、もっと横断歩道を増やすよう、関係機関に要望する。</p> <p>○大浜の交差点等に押しボタン式信号機を設置するよう、関係機関に要望する。</p> <p>○高齢者が今後ますます増えることを考慮し、公共交通網の維持改善を要望する。</p>		
<p>○事業の進捗状況等については、情報提供いたします。※12</p>		

2 新城はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが	
	地域・団体名・市・県・国	
<p>郷土のシンボル「おたけどん」「鉄道記念公園」を大事にしたい</p>  <p>▲ 六月灯(鎌 hands dance)</p>	<p>新城地区公民館 新城の風 こども育成会</p>	
<p>地域の福祉を充実させたい</p>  <p>▲ さわやかあいさつ運動</p>	<p>新城地区公民館 地区振興連 民生委員 老人会</p>	
	市	福祉課

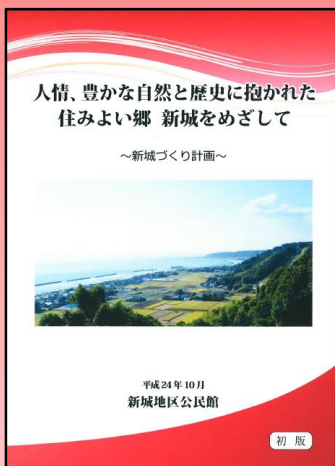
いつ、何をする		市役所関係課長等の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○鉄道記念公園を含め、おたけどんー帯をみんなで大事にする。</p> <p>○植栽等の検討を行う。</p> <p>○鉄道記念公園の遊具類の管理やトイレの水洗化を市と協議する。</p>		
<p>○おたけどんで小学生による伝統行事「節句の馬追い」を行う。</p> <p>○おたけどんに「こいのぼり」を掲げる。</p>		
<p>○鉄道記念公園で行う様々な行事(六月灯や花見等)を盛り上げるため、ステージの屋根や備品を整備する。</p> <p>○地区外との交流が活発になるように、イベントを企画する。</p> <p>○新城の風のさらなる活動で地区を盛り上げる。</p>		
<p>○郷土愛をはぐくみ、子どもも大人も「楽しかった」という思い出をつくる。</p>		
<p>○各振興会で高齢者や子どものためのボランティア活動、支え合い、見守り活動等を行う。</p> <p>○公民館講座や健康体操等へ高齢者が多く参加できる工夫を行い、健康状態も把握する。</p> <p>○地域で高齢者の買い物を支援する。</p> <p>○老人クラブの会員増に努め、高齢者学級への参加を促す。</p> <p>○避難所でもある老人憩の家の改修を要望し、高齢者の交流施設としての利用増進を図る。</p>		<p>※13 老朽化対策につきましては、「公共施設等総合管理計画」に基づき維持補修及び長寿命化を行います。</p> <p>また、エアコン整備につきましても、「公共施設等総合管理計画」の基本方針に沿って優先順位をつけて計画的に整備します。</p>
<p>○南地区老人憩の家については、「垂水市公共施設等管理計画」に基づき計画的に整備します。※13</p>		

新城づくりの歩み

平成24年度～29年度

過疎集落等
自立再生
対策事業
(総務省)

地区の大目標
人情、豊かな自然と歴史に抱かれた
住みよい郷 新城をめざして



- ・新城づくり計画の策定(市内4地区目)
- ・グラウンドゴルフ場予定地の整備
- ・グラウンドゴルフ資機材の整備

H24年度



グラウンドゴルフ場
づくり(H24年度)

- ・グラウンドゴルフ場完成
- ・グラウンドゴルフ場放送機器、パソコン等の整備

農林水産祭むらづくり
部門で、農林水産大臣賞
を受賞

H25年度



農林水産大臣賞を受賞
(H25年度)

- ・グラウンドゴルフ場へ交流拠点施設建設
- ・グラウンドゴルフ場の駐車場舗装
- ・屋外活動用のテント整備
- ・敷地整備用機器の導入
- ・おたけどんの郷に巻上式テントを整備
- ・映像機器の整備(ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン)

H26年度



グラウンドゴルフ場交流
拠点施設完成(H26年度)



交流拠点施設建設



敷地整備用機器



駐車場舗装

見直し計画による新城づくりへ

・新城の風の協力による屋外ステージ建設

・清掃機器の整備
(チェーンソー整備。
老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業を活用。)

・九州地区公民館研究大会(長崎)において、
県代表として公民館活動の事例発表

・おたけどんの郷開店10周年

・新城麓御所のお庭が垂水市社会教育功労者表彰を受ける

・新城神貫太鼓の設立

・新城づくり計画の見直し

・グラウンドゴルフ場の看板設置
(駐車場入り口や管理棟)

・地区公民館イルミネーションの実施

H27年度



イベントで大活躍の屋外ステージ(H27年度)



おたけどんの郷開店10周年(H28年度)



神貫太鼓設立(H28年度)



おたけどんの郷に巻上式テントを整備(H26年度)



「新城麓御所のお庭」社会教育功労者表彰(H28年度)



駐車場の看板設置(H29年度)

H29年度

(2) 新城づくり計画見直し委員会名簿

各種団体役職名等		職名	委員名	各種団体役職名等		職名	委員名
1	公民館長	委員長	田中 實	24	大浜中振興会長	委員	田尻 稔子
2	公民館顧問	委員	矢野 繁	25	大浜上振興会長	委員	田中 泰男
3	公民館主事	庶務	山田 義之	26	小谷振興会長	委員	小谷 政満
4	振興連会長	議長	松元 誠	27	浦川内上振興会長	委員	山口 繁樹
5	振興連副会長	副議長	宮ノ畑 聰	28	浦川内下振興会長	委員	山村 敏廣
6	垂水市市議会議員	委員	感王寺 耕造	29	大都振興会長	委員	岩切 貞男
7	公民館総務部部長代理	委員	安藤 章	30	諏訪下振興会長	委員	川畑 安正
8	公民館総務部副部長代理	委員	畦地 昭洋	31	諏訪上振興会長	委員	池田 秀幸
9	公民館文化部部長	委員	有村 浩人	32	宮脇下振興会長	委員	永田 国一
10	公民館文化部副部長	委員	(故)遠矢 良太	33	館長推薦	委員	楢木 忍
11	公民館体育部部长	委員	永田 久司	34	館長推薦	委員	上田 正輝
12	公民館体育部副部長	委員	當房 勝司	35	館長推薦	委員	高松 守
13	公民館産業研究部部长	委員	戸越 俊一	36	館長推薦	委員	畦地 ひとみ
14	公民館産業研究部副部長	委員	永田 久行	37	館長推薦	委員	永田 光子
15	公民館福祉厚生部部长	委員	小牟田 哲司	38	館長推薦	委員	徳村 京子
16	公民館福祉厚生部副部長	委員	市野 美里子	39	館長推薦	委員	小谷 まさ子
17	消防後援会会長	委員	八木 申一郎	40	館長推薦	委員	宮ヶ原 節子
18	おたけどんの郷副会長	委員	重吉 純靖	41	公募によるもの	委員	甲崎 澄彦
19	おたけどんの郷副会長	委員	井之上 麗子	42	公募によるもの	委員	甲崎 離依子
20	消防団第六分団団長	委員	大山 義輝	43	公募によるもの	委員	永田 臣人
21	市新城地区担当職員	委員	大津 幸彦	44	公募によるもの	委員	永田 雪穂
22	麓上振興会長	委員	楢木 順一	45	公募によるもの	委員	木本 慎治
23	麓下振興会長	委員	竹之内 勝蔵	46	公募によるもの	委員	木本 八千代

(3) 策定経過

主な取組	日付	会議の名称	参加者数
・計画を見直すことを組織決定	H29/4/16	公民館運営協議会	68名
・計画見直し方針の決定、行動計画の振り返り	H29/8/1	第1回新城づくり計画見直し委員会	36名
・行動計画の振り返り	H29/8/22	第2回見直し委員会	32名
・行動計画の振り返り ・新たに取り組みたいこと、さらに充実させたい行動計画について班協議	H29/9/14	第3回見直し委員会	27名
・行動計画の確認	H29/9/28	第4回見直し委員会	22名
・行動計画の確認 ・「だれが」の項目について協議	H29/10/14	第5回見直し委員会	31名
・市への協力依頼項目の協議	H29/10/31	第6回見直し委員会	27名
・市関係課長等と見直し行動計画案の要望事項について意見交換	H29/11/24	第7回見直し委員会	31名
・計画書の仕上げ作業 ・見直し計画書原案の承認・決定	H29/12/21	第8回見直し委員会	28名



▲市関係課長との意見交換（第7回見直し委員会）



▲ 新城地区公民館イルミネーション(平成 29 年 12 月 22 日)

見直し版あとがき

わたしたちは、平成 24 年度に 10 年間の地域振興計画「新城づくり計画」を策定し、地域づくりに活用してきました。

行動計画に基づいて、グラウンドゴルフ場の整備やおたけどんの郷に関するもののほか、新城ふるさと先生グループの活動や鉄道記念公園での各種行事の盛り上げなど、地域活性化につながる様々な取組を実施してきました。

そして、今回、計画期間の中間期を迎えたことから、今後の中後期を見据えた見直しを行いました。

見直し委員については、公民館役員をはじめ、これからの新城を一緒に考えたいという公募委員にも加わっていただき、多くのメンバーで協議を進めてきました。協議では、行動計画の振り返りに始まり、新しいことへの挑戦や既存計画の充実を図ってきました。行動計画の中にはアイデアや予算、何より地区住民の皆さんの力が必要なものも含まれています。

わたしたちは、地区の大目標「人情、豊かな自然と歴史に抱かれた住みよい郷 新城をめざして」の下、この新城づくり計画見直し版により、力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。

最後に、多忙な中、最後まで新城づくり計画見直しに携わっていただいた委員の皆様、市役所企画政策課をはじめ関係各課の職員の皆様にも、心から感謝申し上げます。

平成 29 年 12 月 21 日

新城地区公民館長

新城づくり計画見直し委員会委員長 田中 實

人情、豊かな自然と歴史に抱かれた
住みよい郷 新城をめざして
新城づくり計画（見直し版）

発行年月 平成 29 年 12 月
編集・発行 新城地区公民館
新城づくり計画見直し委員会
〒891-2114
鹿児島県垂水市新城 3452 番地
☎0994-35-3619
協働制作 垂水市役所関係各課
新城地区地域担当職員
企画政策課地域振興係

